

学校給食センター会議録

【 臼田センター】

会議名	令和5年度第2回佐久市学校給食臼田センター運営委員会
開催日時	令和5年11月29日(水) 午後4時 ~午後4時45分
会議場所	学校給食臼田センター2階会議室
出席者	小林臼田中学校長・井出臼田小学校長・内堀臼田中PTA副会長・黒澤学校薬剤師代表・ 佐々木学校教育部長 (傍聴者)1名 (事務局)柳澤学校給食課長・荒木企画員・木曾事業係長・荻原栄養士・高見澤栄養士

議事録	
1 開会	木曾事業係長
2 あいさつ	小林会長
3 会議事項	佐久市学校給食センター条例施行規則第17条により会長が議長となる。
(1)	令和5年度佐久市学校給食臼田センター給食会計中間監査報告について
	木曾事業係長、説明
監査報告	監事代表 井出監事
承認	令和5年度佐久市学校給食臼田センター給食会計中間監査について承認される。
(2)	令和6年度(2024年度)学校給食費の改定について
	柳澤学校給食課長、説明
意見	「参考資料(番外編)」は、イラストや図表を用いて説明していてわかりやすい。 (小林会長)
補足	保護者には、分かりやすい資料でアナウンスできればと考えている。次の運営委員会は、1月に参集したい。保護者には、12月に周知できればと考えている。(事務局)
意見・質問	栄養士や他のセンター職員は、食材の安いものを利用したりして、爪に火を点すように、やりくりしていると聞いている。 1食当たり40円給食費が上がるとすると、1年間で1人当たりおよそ8,000円上昇する。3人いれば、24,000円上昇するというのを、10月の学校給食費検討会議で発言した。令和6年度の市が負担する補助金算定総額は、およそ30,000,000円で大きい額になる。1人当たり8,000円上がるところ、資料では令和6年度と令和7年度に一部補助が予定されていて、保護者のことを考えているということが分かった。多くのものの価格が上昇している中で、よくやっていると思う。 資料では、令和8年度から小学生は、補助金なしの1食あたり310円の給食費となるが、その金額で何年やっていけるのか。令和9年、10年でまた給食費を上げると、見通しが甘いと言われかねない。(小林会長)
回答	現行の給食費は平成26年度に改定され、10年というスパンがあった。それまでは5年が一つのスパンというのが基準だった。今回だけ期間が10年に至った。この間消費税が10%に上がったが、食材等は軽減税率が適用され、税率はほぼ8%で大きく変わらなかった。今の段階では、先々は読めない。物価の上昇により5年待たずして給食費を変えることもあり得る。(事務局)

意見	中学校では、現在補助金の額を含め給食費は1食あたり330円。給食費改定に踏み出さざるを得ないと理解する保護者は多いのではないかと思う。 次回運営委員会で給食費改定について決定したい。(小林会長)
(3) その他	高見澤栄養士から「学校給食における食物アレルギー対応の基本(概要)」について説明。
質問	臼田センターでは、牛乳、乳製品のアレルギーで、パンを提供している対象者は何名いるか。(井出委員)
回答	5名いて、そのうち1名は家庭からパンを持ってきている。その他の4名は、保護者が医者に確認をとり、給食のパンを食べている。来年度からは、三者面談をして、ごはんに変えてもらうか、パンを家庭から持ってきてもらうようになる。(事務局)
質問	5名の小学生、中学生の内訳は。(井出委員)
回答	中学生が1名、小学生が3名で、そのうち1名は来年中学校へ入学する。(事務局)
意見	佐久市はアレルギー対応がしっかりしていて、ありがたいという声を保護者から聞いている。(小林会長) 次回運営委員会は、1月に開催する予定。(事務局)
4 閉会	小林会長
	以上